

真の『先輩』が創り出す美中のブレイクスルー

皆さん、おはようございます！——おかえりなさい。

2026年になりました。今年をどんな年にしたいか、「漢字一字」を考えてみましたか？言葉は魂をもっているので、発することで現実になると言われています。校長室はいつでもオープンにしています。ぜひ、あなたの「漢字一字」を教えに来てほしいです。

今日から始まる3学期は、この1年間の「仕上げ」の時期です。特に3年生にとっては義務教育9年間の集大成となる重要な期間です。1学期の始業式で私は「新入生にとって、2年生は‘頼りになる先輩’、3年生は‘あこがれの先輩’であってほしい」と伝えました。そのために「楽しみ上手」な姿を後輩に示してほしいとも言いました。どうですか？‘頼りになる先輩’になれましたか？‘あこがれの先輩’になれましたか？その答えはまだ出でていません。「仕上げ」がまだ残っています。

この3学期は次年度に向けた「準備」の期間でもあります。1年生は後輩を迎えて‘頼りになる先輩’になる準備を、2年生は‘あこがれの最上級生’になる準備を、そして3年生は自分の未来に向かって力強く羽ばたく準備をしてください。

さて、12月に行った全校ごちゃまぜ道徳では、学級も学年も超えて「伝統とは何か。」を語り合いました。「形は変わっても思いは変わらない。」「先輩たちの思いを大切に次に伝える。」といった皆さんの言葉に私は深く感動しました。

ここで私の大学時代の話をします。当時の空手部には「後輩は先輩が通り過ぎるまで90度のお辞儀を続ける」「汗で濡れた先輩の道着を後輩がたたむ」など、理不尽な伝統がありました。挨拶はお互いにするものです。自分の道着は自分でたためばいいのです。私は最上級生になった時、後輩も含めた部員みんなで話し合って、これらの全てを廃止しました。

伝統とは単にこれまでの形式を守ることではありません。良い伝統は磨き、筋の通らないものや誰かを苦しめる伝統は壊していく勇気をもつべきです。何を残し、何を新しく創るか。それを判断し、バトンを磨き上げる力が、先輩である、先輩となる皆さんにはあるのです。

第77期生徒会は「ブレイクスルー」というスローガンを掲げています。ブレイクスルーとは、目の前の障壁を新しい方法や考え方で突破することです。一見「伝統を受け継ぐこと」と「ブレイクスルー」は反対のように思えるかもしれません。しかし伝統は先輩たちが積み重ねてきた「成功と失敗の記録」であり、皆さんの足元にある搖るぎない土台です。真のブレイクスルーはこの強固な土台があってこそ成し遂げられます。伝統から学び、その上で新しい方法を試す。このサイクルが美香保中をさらに輝かせる原動力になります。

美中ボックスによる異学年交流の充実は、まさにその象徴です。皆さんの声が生徒会を動かし、新しい種目による美中オリンピックや全校ごちゃまぜ道徳を生み出しました。既存の枠を自分たちの意志で塗り替えていく行動こそ真のブレイクスルーです。

3年生の皆さん、後輩に残したいバトンを最後まで行動で示してください。1・2年生の皆さん、先輩から受け継ぎ自分たちらしい形に磨いていってください。‘頼りになる先輩’‘あこがれの先輩’であるかどうかを決めるのは後輩です。後輩は先輩であるあなたをよく見ていています。

この3学期、皆さんのが「楽しみ上手」な姿を貫き、美香保中学校の歴史に最高に熱い1ページを刻むことを期待しています。さあ、「仕上げ」と「準備」を始めましょう！

(080115 3学期始業式 校長挨拶より)